

IGS セミナー（生殖領域）

生殖医療技術と 男性性

2019年7月26日（金）

さまざまな生殖医療技術が登場し、その需要は年々増加傾向にある。生殖医療の利用について、女性の当事者に注目した研究は多くみられるようになってきているが、実は男性も生殖医療利用の当事者であり、日本においては、この男性に焦点を当てた研究は多いとはいえない。そこで、本セミナーでは、男性当事者の視点に注目しながら、男性と生殖へのかかわりについて検討する。

報告者	菅野摂子（立教大学）「男性の生殖を問う理由と研究の意義」
	斎藤圭介（岡山大学）「出生前診断に男性はいかに向き合ってきたのか」
ファシリテータ	仙波由加里（お茶の水女子大学 IGS 特任 RF）

要事前申込（入場無料）

✓ 日時：2019年7月26日（金）18:00～20:30

✓ 会場：お茶の水女子大学本館126室

